

## Sea Otter Classic 2013 レースレポート

MIYATA-MERIDA BIKING TEAM 齊藤 亮

大会名：SEA OTTER CLASSIC 2013

期日：2013年4月19~20日（金/土）

会場：カリフォルニア・モンレー / ラグナセカサーキット特設コース

天気・気温：晴・26℃

競技種目：Pro Short Track(0.7mile/20分+3周) / Pro Cross Country (21.3miles×1周)

出場者数：Pro Short Track 75名 / Pro Cross Country 100名

結果：Pro Short Track 20位 / Pro Cross Country 65位

.....

サンフランシスコの南、約200kmの距離にあるモンレーにて世界最大級の自転車イベント Sea Otter Classic に参戦して来た。Sea otter Classic はイベント参加者・観客合わせて約6万人以上が参加するレース&エキスポであり、今年で23回目を数えるそうだ。4日間のイベント期間中はロードレース、MTBクロスカンントリー、ダウンヒル、デュアルスラローム、シクロクロス、BMX、ダートジャンプ、スピードゲーム・・・など数えきれない程のイベント種目があり、各カテゴリーに分けられ開催されている。また各メーカーブースでは新製品の展示や試乗、グッズの販売や試供品などをプレゼントしてくれ、来て見て乗って買って楽しむイベントは非常に魅力的に感じた。各イベントレースにはもちろんプロクラスが用意され、全世界からトップライダーも集結。今年は例年になくハイレベルな面子が揃うレースとなった。



最初のレースはイベント2日目（金曜）に開催された Pro Short Track(0.7mile/20分+3周)。翌日の Pro Cross Country のお披露目的なイベントレースだが、名立たるライダーが集結する正にガチンコ勝負。スタート位置はゼッケン順にコールされていき、20番ゼッケンの自分は3列目に並ぶことが出来た。1周に掛かる時間は3分強のため、先頭から遅れすぎると次々と切られてしまうサバイバルレース。コース幅は狭く、距離も短い。スタートが肝心なのは百も承知。だからこそ集中力を高め、スタートダッシュに全神経を集中させる。笛の合図と共に良い

反応でスタートダッシュに成功。スタートしてすぐのヘアピンカーブでやはり渋滞発生・・・しかしバイクを降りることなく回避することが出来、30番手前後に位置することが出来た。1列棒状になる区間が多く、中切れを起こす選手もチラホラ。ストップ&ゴーを繰り返しながら、ひらすら追い込み集団に食らい付く。少しのミスやスペースがあれば前の選手をパスしていき、逆にミスをすれば大きく順位を落とす・・・。

やはり日本ではありえないような強引さ、判断力や決断力が必要であり、遠慮なんかしていたらレースにならないことを肌で感じた。積極的な走りを心掛けプッシュし続ける。終盤はペースダウンしてくる選手をパスしていき、ラストラップで3名の選手をパスし20位でゴール。

給水を取らなかった影響からゴール後は多少の脱水症状ではあったが、最後まで集中して追いつむことが出来た。良いイメージでレースを終えることが出来たので翌日のレースに備え会場を後にした。

翌朝6時に起床し朝の散歩。脚に重だるさが残るが、アップを始めれば大丈夫だろうと思いながら朝食を取る。朝食後は部屋でゆっくりと寛ぎ、入念に準備をしレース2時間前に会場入り。日中は日差しがとても強く痛いほどで乾燥もしている。スタートオイルを脚に塗り込みセルフマッサージ。バイクの準備や調整も完璧。

この日の競技は Pro Cross Country (21.3miles×1周)のワンウェイのビックコース。カリフォルニアのダイナミック景色、極上のシングルトラックが続くワンウェイコースは走っていて興奮するくらい楽しい。目標は昨日の順位(20位)よりも上を目指すこと。スタート位置は4列目の真ん中くらい。サーキットコースを半周して本コースに入っていく。やはりコース幅が狭いタイトなコーナーでは渋滞が発生してしまうことが多く、少しでも前方に位置取りたいのは皆一緒。スタートからかなりハイスピードでレースが展開され、ちょっとオーバーペース気味なのは覚悟の上で集団中程に位置しレースを進めていく。しかしジープ道が続くアップダウンで一気に乳酸が溜まってしまいズルズルと後退・・・。明らかに乳酸が処理出来ておらず調子が良くない・・・。少しペースを落として様子を見るが、呼吸は苦しくないのに脚が重く力が入らない。気持ちとは裏腹に我慢のレースを強いられてしまう。コース試走で



の流れるようなイメージが全くなく、しまいには集中力も掛けていく……。何が調子の悪い原因なのかをひたすら考えながら走っていた。辛い、ただただ辛い。こんなレースは久しぶりだ。いや初めてかもしれない……。苦しさや悔しさに耐えながらマイペースでゴールに辿り着き、65位でレースを終えた。

このレースへ対する思いが強かっただけに、不完全燃焼に終わった気持ちを消化出来ない自分がいた。走れなかった原因はなんだろう……。そればかりを考えていた。疲れか？時差ボケか？色々なことを考えてもすぐに結論は出てこない。しかし、アメリカの食事は決してバランスの取れた食事とは言えず、レース期間中の食事としては満足なものではなかった。与えられた環境の中で自分なりに工夫しながら食べ物を厳選していったが限界はある。やはり食事や補給はいつものルーティンでなければダメだということも改めて痛感した。自分の理想とする走り、持ち味を出せなかった悔しさで正直煮え切らないが、これも次へのステップと捉えて前向きに進んでいこうと今は思える。

今遠征で初めて訪れたアメリカの地。本場のマウンテンバイクやトレイルを肌で感じ、文化の違いや楽しみ方の違いを改めて認識させられた。日本には少ない極上のトレイルが無数に広がり、どれだけ走っても飽きることがない。「楽しい」だけのトレーニングや遊びでは競技者としてどうかと思うが、楽しむくらいの心の余裕を持っていることは非常に大事なことに思えた遠征でもある。MTBは個人競技であっても、純粋な個人競技ではないんじゃないかと思える。もちろんレースを戦うのは自分1人だけど、チームやサプライヤーが一丸となり、支え合い、結果を出そうとする団体競技と言えるのではないか。たくさんの方々を支えられ、サポートして頂けること

でアスリートは最大限の力を発揮することが出来る。選手はもちろん日々努力・進化をしていかなければならないが、チームもスタッフもより高いレベルで進化する必要もあると感じた。世界との差を埋めるにはどうしたらいいのか……。選手だけでなく、スタッフも真剣に考える必要がある。また気持ちを新たに今後の課題と目標を定めていかななくてはならない。



楽しく充実した1週間はあっという間に過ぎ去った。すべてのサイクリストを楽しませる工夫に満ちたシーオッタークラシック。ぜひ来年もリベンジを兼ねて参戦したいと思う。



【レース結果/ Pro Short Track 】

1. GEOFF KABUSH CAN/SCOTT 3-ROX
  2. LUKAS FLUCKIGER SUI/ BMC MOUNTAINBIKE RACING
  3. EMIL LINDGREN SWE/GIANT PRO XLT
  4. JAROSLAV KULHAVY CZE/SPECIALIZED
  5. TODD WELLS USA/SPECIALIZED RACING
  6. DAN MCCONNELL AUS/TREK FACTORY RACING
20. 齊藤 亮 JPN/MIYATA-MERIDA BIKIG TEAM

【レース結果/Pro Cross Country】

1. MIGUEL MARTINEZ FRA/FACTORY FRM ISD
  2. GEOFF KABUSH CAN/SCOTT 3-ROX
  3. TODD WELLS USA/SPECIALIZED RACING
  4. LUKAS FLUCKIGER SUI/ BMC MOUNTAINBIKE RACING
  5. MAX PLAXTON CAN/ SHO AIR/CANNONDALE
  6. CHRISTOPH SAUSER SUI/ SPECIALIZED RACING
65. 齊藤 亮 JPN/MIYATA-MERIDA BIKIG TEAM

【使用機材】

バイク : MERIDA / BIG.NINE CARBON TEAM-D  
フロントフォーク : DT-SWISS / XMM100-29 TS REMOTE TAPER  
クランクセット : SRAM / XX1  
サドル : SELLE ITALIA SLR XC  
ホイール : XCR 29er SUPER COMP PRO  
タイヤ : IRC / MYTHOS XC TUBELESS READY (29×2.1)  
シューズ : NORTHWAVE / エクストリームテック MTB S.B.S  
ヘルメット : KABUTO / REDIMOS  
サングラス : adidas eye wear / evil eye halfrim pro /LST アクティブ S ライト  
ケミカル : **HOLMENKOL**  
メーター : POLAR / RS800CX BIKE  
エネルギージェル : shotz ENERGY GEL  
ドリンク : Electrolyte shotz  
レースウェア : WAVE ONE

レースソックス : deuter

レースグローブ : KABUTO / PRG-1

アンダーウェア : CRAFT

インソール : SUPER feet / Black

アパレルウェア : Columbia

テーピング : New-HALE

ネックレス : erg

